



News Release

令和4年10月12日

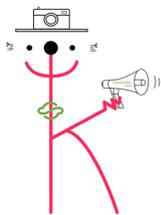
「大野市と香川大学との連携協力に関する協定」の締結式について

教育及び研究等の分野で連携を行い、地域の発展と人材育成等に寄与することを目的に大野市と香川大学で協定を締結します。

今回、協定締結式を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 日 時 令和4年10月27日（木）10:30～11:00
2. 会 場 香川大学イノベーションデザイン研究所
高松市番町4丁目8-27
3. 出席者 大野市長
香川大学長



➤ お問い合わせ先

大野市 暮らし環境部 環境・水環境課 企画主査 松本 高志

TEL: 0779-64-4828 (直通)

FAX: 0779-66-1118

E-mail: matsumoto.t@city.fukui-ono.lg.jp

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 三好

TEL: 087-832-1651

FAX: 087-832-1668

E-mail: miyoshi.masaaki@kagawa-u.ac.jp

香川大学と大野市の水環境に係る連携協定の締結について

【経緯】

福井県大野市は、九頭竜川の源流域に位置し、周囲を1000m級の山々に囲まれたその地形から豊富な地下水に恵まれており、市民は井戸水を飲料に用いるなど古くから水と共生する湧水文化を育んできた。しかし、2021年には湧水に見舞われるなど、地下水位の低下や湧水の減少が進んでおり、その対策が課題となっている。そのため、2021年2月に策定した「大野市水循環基本計画」に、「健全な水環境に関する教育、人材育成及び研究の推進」と「気候変動が水環境に与える影響の調査研究と適応策の検討」を盛り込み、大学等との連携を推進していくこととしている。

香川大学は、2015年から大野市において、地下水モニタリングに関する研究を推進するとともに、水循環に関する市民向けの講座実施に協力してきた。一方、水資源に乏しい香川県は水環境や水利用が特異であり、香川大学には、それらについて様々な研究による知見が蓄積されている。水資源の豊富な大野市において、水循環への気候変動の影響や水を取り巻く環境に関する調査研究及び、水資源の保全を担う人材の育成を連携協力して実施することは、大野市への貢献はもとより、香川県域における水循環や環境の保全に有益な知見をもたらすと考える。

大学との連携により水循環等の研究や人材育成を目指す福井県大野市と、水資源の豊富な地域での水循環への気候変動の影響についてのフィールド調査に取り組む香川大学の方向性が合致したことから、連携協定を締結することとなった。



本学と大野市とのこれまでの主な連携実績

■ 共同研究

[山田] 2015～現在

水位観測孔を利用した地下水温の連続モニタリング手法の開発
浅層地下水の涵養メカニズムの解析
大気降水物採取機器の設置

[中野] 2013～現在

大野盆地における地下水温マップの作成
水安定同位体比、微量元素をトレーサーとした地下水動態の解析

[成果発表・講演]

中野孝教、山田佳裕、市職員など（2020）子供だってジオ・エコ研究者—地学教育は環境研究の最前線—、みんなの地学、v. 1. 10-15.
中野孝教、帰山寿章（2018）水循環を可視化しながら健全に育てる試み—湧水の郷、福井県大野市の例— リバーフロント、v. 87, 1-4.
中野孝教（2015）水質マップによる大野市の市街地地下水の水脈診断、日本地下水学会招待講演

■ 市民向け授業・実習

2013 小学生による地下水温の測定
2018 小学校出張授業「小学生が計測した地下水温結果の報告」
2020 水環境ボードゲームの体験と改善コメント（香川大学農学部3年生）
2020～ 市民講座（suisui課外授業・suisuiサイエンス講座）

■ シンポジウム・協議会等

2013 大野市湧水文化再生推進連絡協議会「湧水の水質マップからわかること」
2014 大野市教育委員会「小学生の水質マップ作成から始める環境実感都市づくり：越前大野の環境教育と湧水生態系保全に向けて」
2015 大野市湧水文化再生推進連絡協議会「大野の市内地下水の水脈診断」
2020 水のがっこう研修会「水循環調査研究のこれまでとこれから」
2021 大野市議員講習会「水循環教育で地域活性」
2021 大学と連携した地下水に関する研究成果報告会「水の指紋を使ってわかってきた大野の水循環」



香川大学と大野市の連携協力による具体的取組と今後の展開

水循環メカニズムの解明に関する調査研究



大野市は、日本有数の豪雪地帯で特別豪雪地帯に指定されている他、九頭竜ダム等大規模な人工湖も点在する水の豊富な地域である。一方で、水利利用は気候変動の影響を受け易く、2021年には渇水に見舞われたことから、市民の水への意識は高まっている。このような背景の下、水の持続的利用に向け、気候変動、地形も含めた水循環メカニズムの解明を目指す。

キーワード：河川・ダムの水文学、降雨・降雪、地形と地下水動態

人づくり・地域づくり活動

「越前おおの水のがっこう」、「香川大学博物館」などでの研究成果の地域・教育への還元

(大野市・香川大学)



今後想定される展開

生態系プロセスの解明

地球温暖化は、気温はもとより、降雨・降雪の変化をもたらす。豊富な湧水によって生態系が構成されている地域における湧水の減少は、地表水の水温や湿度を変化させ、生物相に大きな影響を与えることになる。大野市をフィールドに、地球温暖化のもとでの持続可能な水環境の保全に向け、地下水と生態系の関係の解明を目指す。

キーワード：動植物の生物相・生態、湧水・水温、霧



天空の城：越前大野城

越前大野城には、
・石垣の劣化に対する保存整備などについて検討が必要
・来訪者が大野市の歴史を感じる主要な施設であり、適切な維持管理が必要
という課題がある。



キーワード：石垣、木構造